



介護施設での“看取り”に関する取り組み② 偲びのカンファレンス

「豊かな看取りケア」の実現に向けて

特別養護老人ホームふくら（以下、ふくら）は、滋賀県の北西部長浜市に位置する定員80人の特別養護老人ホームです。1975年に滋賀県が県立特別養護老人ホーム福良荘（定員50人）として開設し、運営を社会

福祉法人グロー（旧滋賀県社会福祉事業団）が受託しました。

その後、1988年に増床し、現在の定員80人になりました。しかし、3～4人の多床室のみであったため、2003年から3つのグループケアへ移行し、2011年に県から移管を受け、施設名を「特別養護老人ホームふくら」に変更し現在に至っています（表1）。

ふくらでは、県立時代から40年以上にわたり、高齢者支援で培った介護のノウハウを基礎とし、一人ひとりのパーソナリ

ティを尊重した支援に努めてきました。人生の最終段階となられても、本人の人生と向き合って、家族と一緒に支援していく

「豊かな看取りケア」を実現するため、併設事業所や連携事業所と協力しながら切れ目のないサービスを提供し、地域福祉の拠り所となるべく、地域に根ざした支援を行っています。

また、ふくらでは、入居から看取りを見据えたケアに取り組んでいます。その内容を具体的に示したもののが「ふくらケアの6つの柱」です（表2）。

本稿では、ふくらで行っているさまざまな看取りケアの中から、「偲びのカンファレンス」をご紹介します。

援員）は個々に、「ふくらケアの6つの柱」に沿ってケアを振り返ります（資料2）。

また、看護師間では看護ケアや意思決定支援、多職種連携などを振り返りながら、偲びのカンファレンス時に話し合うチームを「振り返り」の記入内容から見つけます。

偲びのカンファレンスは、毎月のサービス担当者会議時に開催します（写真）。参加者は、チームの支援員（8人ほど）、介護支援専門員、生活相談員、管

**表1 ふくらの現状
(2019年10月1日現在)**

- 平均年齢：85.7歳
- 最高齢：男性97歳、女性101歳
- 最年少：男性56歳、女性68歳
- 平均要介護度：4.15
- 平均入居期間：3.0年
- 年間看取り数：20人以上

金森暢子 特別養護老人ホームふくら 看護主任

大津赤十字看護専門学校卒業。1987年から大津赤十字病院、長浜赤十字病院で、循環器、消化器外科、救急病棟での看護に携わった後、2005年より社会福祉法人グロー特別養護老人ホームふくらの看護師となる。特別養護老人ホームでの穏やかな「最期」に心が動き、「安楽だけでなく豊かな看取り」に取り組みながる「ふくらケアの6つの柱」としてまとめ、現在に至る。アメニティフォーラムなどでふくらの看取りケアを発信。

